

自然観察会報告
清沢のホタルと自然観察会
逢坂興宏



ホタルを見にたくさんの方が集まりました。

6月8日（土）に清沢でホタルの観察会を行いました。

観察会の会場になった清沢地区は、藁科街道（国道362号線）を車で30分ほど走った静岡市葵区相俣にあります。国道沿いにある「きよさわ里の駅」の横の県道に入って5分ほど山道を走ると棚田が現れます。ここの棚田は、当NPOの天岸理事長も会員になっている「清沢塾」の市民グループが、耕作放棄されていた棚田を復元・拡大し、農薬を使わない自然農法で米づくりを行っている田んぼです。山あいでも小川の流れる無農薬の棚田となれば、ホタルやヤゴ、カエル、イモリなど水生生物をはじめ野生の生き物がたくさん生息していることもうなずけます。自然観察会にはうってつけの場所といえます。

17時に「きよさわ里の駅」の駐車場に集合した参加者は、事務局からの説明後、棚田の方へ移動しました。今回の参加者は約40名の個人、家族連れのほか、静岡大学の昆虫同好会「虫処（おしどころ）」の学生さんが大勢参加してくれました。

棚田に着くと早速、虫を追いかけたり、イモリやヤゴを探したり、植物など自然観察して時間を過ごしましたが、ホタルが現れるまでには、まだまだ時間があります。そこで暗くなる前に腹ごしらえをしていると、「イノシシ！」という声。振り返ると事務局のYくんの背後に動物



姿を見せたイノシシの子供

が……。よく見るとイノシシの子どもです。イノシシの子どもはこちらをじっと見ていましたが、私たちの騒ぎを聞くとさっさと山の方へ行ってしまいました。その間わずか1、2分の出来事でした（17時50分）。

それにしても、暗くなるにはまだ時間があります。今年こそホタルの写真をしっかり撮りたいと思っていた私はどこに出るか？どこなら写真撮影にいいか？と撮影ポイントを探して、小学生低学年の子供2人を連れて上流の方へ移動していきました。あちこち探して、道端に三脚をスタンバイして待つこと30分……。1時間ほど経過した19時頃になってようやく周りが薄暗くなってくると、道の近くに迫る山から何かが出てきそうだと感じたのか子供たちが不安げになって、みんなのいる所に行こうと言い出すことに。私としては暗くなるまで粘りたかったのですが……。

みんなの集まる橋の上に移動して暗くて人の顔が分かりにくくなった19時半を過ぎたころ、「ホタル！」の声が。遠くで小さな黄色い光がゆっくりと静かに明滅しながら宙を舞い始めました。あちこちから次々に歓声が上がリ、参加者はそれから約1時間ほど、ホタルの光の舞を觀賞しました。

今回観察したのはゲンジボタルでしたが、ここではこのあとヘイケボタルが見られるそうです。まだ来られたことがない方はぜひ来年どうぞ！